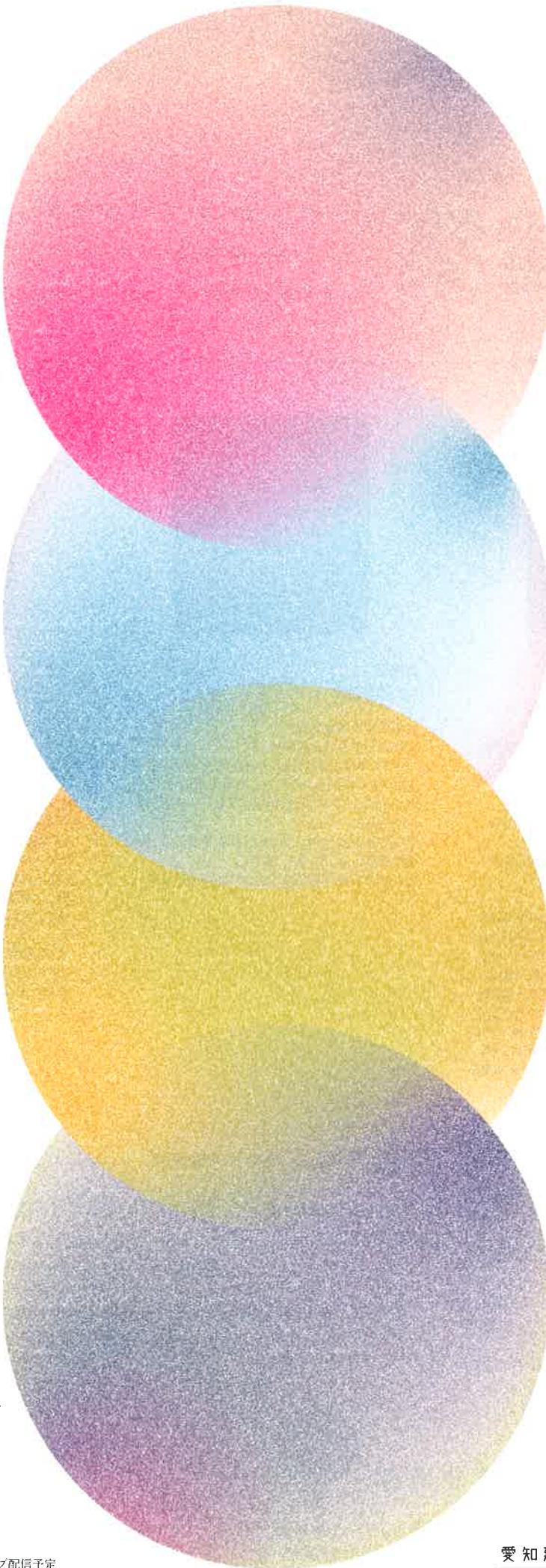


耕す建築



耕すことは、はじまりを意味します。

それは、繰り返される行為のはじまりともいえる。
その先に何が育つのか、それが知りたい。

作品募集

- | テーマ／耕す建築
- | 最優秀賞／賞金20万円
- | 応募方法／データメール送付
&A2パネル郵送
- | 応募締切／2025年12月20日(土)
当日メール着信および消印有効

審査・シンポジウム

- | 日時／2026年1月24日(土)
12:30-17:00
- | 会場／ITOJI NAGOYA DELA
名古屋市中区栄4-15-32日建住ビル1F
- | 審査員(シンポジウム・パネラー)／
建築家_堀部安嗣
建築家_木村吉成
茅葺師_沖元太一

■しづチャン【愛知建築士会名古屋北支部】にてライブ配信予定

応募方法、シンポジウム及び
公開審査の観覧申し込み等の
詳細は公式WEBサイトをご
確認ください。

建築コンクール 公式Webサイト
kenchiku-concours.758n.org/



第17回建築コンクール

公益社団法人愛知建築士会名古屋北支部主催

耕す建築

審査員 シンポジウム／公開審査



©Tei Ito

建築家

堀部安嗣

1967年神奈川県横浜市生まれ。
1990年筑波大学芸術専門学群環境デザインコース卒業。
1991-1994年益子アトリエにて益子義弘に師事。
1994年堀部安嗣建築設計事務所を設立。
2002年第18回吉岡賞を「牛久のギャラリー」で受賞。
2016年日本建築学会賞(作品)を「竹林寺納骨堂」で受賞。
2021年2020毎日デザイン賞受賞。
2007-2024年京都造形芸術大学(2020年4月より、
京都芸術大学に校名変更)大学院教授。
2022年-放送大学教授。
代表作に「南の家」(1995年)、「ある町医者の記念館」
(1995年)、「KEYAKI GARDEN」(2008年)、「阿佐ヶ谷
の書庫」(2013年)、「竹林寺納骨堂」(2013年)、客船
「ガントツ」(2017年)など。著作に「堀部安嗣の建築 -
form and imagination」(2007年、TOTO出版)、「堀部安
嗣作品集 1994-2014, II 2012-2019, III 2019-2024
全建築と設計図集」(2015年/2024年/2024年、平凡
社)、「堀部安嗣 建築を気持ちで考える」(2017年、
TOTO出版)、「住まいの基本を考える」(2019年、新潮
社)、「建築と利他」(2025年、共著/ミシマ社)など。



建築家

木村吉成

大阪芸術大学准教授
北海道科学大学客員教授
1973年和歌山県生まれ。大阪芸術大学芸術学部
建築学科卒業後、狩野忠正建築研究所を経て、
2003年に木村松本建築設計事務所を松本尚子
と共同設立。
主な受賞歴にJIA新人賞、新建築吉岡賞、JIA関西
建築家新人賞、藤井厚二賞など。
主な著書に、住宅設計原寸図集(オーム社)など。



茅葺師

沖元太一

株式会社Earth Building 代表取締役
1975年広島生まれ。
広島工業大学環境学部環境デザイン学科卒業
後、筑波大学大学院芸術研究科に進学。民家調
査を通じて感じた職人の仕事に憧れ、修了後に宮
城県石巻市にある、茅葺きと天然スレートの専門会
社「有限会社 熊谷産業」に入社。
2011年に独立し、Earth Buildingを設立。現在は
宮城と広島を行ったり来たりの2拠点で活動。
新しい茅葺きの可能性を創造し、伝統的な茅葺きと
共に、茅葺き文化を未来へ繋ぐことを目指していま
す。
主な工事実績は、大阪関西万博シグネチャーバジ
リオン「EARTH MART」、鳥飼八幡宮拝殿(福
岡市)、重要文化財堀江家住宅(広島県)など。

作品募集

テーマ ————— 耕す建築
最優秀賞 ————— 賞金20万円
応募方法 ————— データメール送付&
A2パネル郵送
応募締切 ————— 2025年12月20日(土)

開催日時

シンポジウム／公開審査 同時開催

2026年1月24日(土) 12:30～17:00

会場 ————— ITOKI NAGOYA DELA 名古屋市中区栄4-15-32 日建住生ビル1F

YouTube しぶチャン【愛知建築士会名古屋北支部】にてライブ配信予定

建築コンクール公式Webサイト kenchiku-concours-758n.org/

応募方法、シンポジウム及び公開審査の観覧申し込み等の詳細は公式WEB
サイトをご確認ください。



公益社団法人

愛知建築士会 名古屋北支部

